



国の補助金を活用し、将来的なレベル4自動運転移動サービスの実現を目指す 実証調査事業を実施します！

概要

- 少子高齢化に伴う運転手不足など、地域公共交通を取り巻く課題に対応するため、将来的に持続可能な公共交通としての自動運転移動サービスを提供するための実証調査事業を実施します。
- 観光需要が見込まれるナガシマスパーランド⇄なばなの里ルートで実験を行うことで、技術特性や住民の移動需要を整理し、将来的には広く公共交通に活用することを見据え、具体的なサービス実装に向けた検討を行います。



補助事業

国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転実証調査事業）」

※補助額：8,000万円

実施時期

令和5年11月下旬～12月下旬

※一般の方のご試乗は別途ご案内いたします

運行事業者

三重交通株式会社

自動運転実証調査事業を実施します



本物力こそ桑名力

公道ルートにおいては公共交通としての運用を想定し大量輸送を可能とするバスタイプの車両を、ナガシマスパーランド駐車場内では安全性やデザイン性を重視し、グリーンスローモビリティ車両を採用します。

なお、**ゼロカーボンシティの理念を踏まえ、いずれの車両もEVとなります。**

J6（ティアフォー製自動運転EVバス）



- 乗車定員：25名（実験中の試乗枠 13名）
- 最高速度：車両機能上限 70km/h
（実験時の上限 40km/h）

GSM8（ティアフォー製グリスロ自動運転車両）



- 乗車定員：9名（実験中の試乗枠 7名）
- 最高速度：車両機能上限 19km/h
（実験時の上限も同様）